

'88就職戦線

圧倒的な売り市場

目立つブランド指向

昭和六十三年度の就職戦線は、景気の好調による求人増加で、内午による学生の減少の影響もあってか第一次オイルショック以降最高の求人倍率であり、圧倒的な売り手市場だった。学習院の学生も出足はよく、極めて順調な就職状況（中村義明就職部長）だといつて、就職部では今年の就職戦線（も昨年と同様見通しは明るい）としているが、現三年生の就職への关心が例年よりも低いため「油断は禁物だ」と呼掛けている。

1988・3 就職部主催「業界セミナー」。資料請求始める

5 O B 、O G 訪問が始めまる。中には75名会ったという猛者も

6 就職活動本格化。某企業の本学OB、30名ほど白目の喫茶店に集め説明会。下旬から金融も動き出す

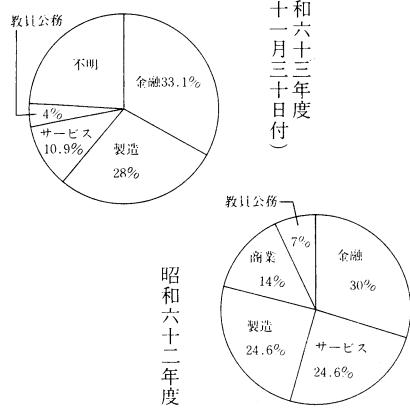
7 企業訪問、面接始まる。内定をもらったといふ人が出てくる

8 ——1日、求人票公開
—20日、企業説明会開始。前後して、内定をもらう。同時に抱束をする企業も

9 ——5日、会社訪問解禁。この時点ではほぼ就職は内定している。複数の内定企業の中から一社を決める。

10 ——15日、採用内定開始。正式な内定通知

業種別就職状況



昭和六十三年度
(十一月三十日付)

昭和六十二年度

「起業して販路開拓へ」と奮起を促してい

14

あなたが新生大学新聞を創る 編集部員募集

學習院大学新聞社
黎明会館 316号室
TEL 986-0221内線607

'88就職体験記

お話をかがえま

▼今、部室に北原の曲が流れています。カラオケファンの気分よくヘンなのですが、どうもこの社員には騒音しているようです。

ジャーナリストを目指す君

あなたが新生大学新聞を創る **編集部員募集**